



その2

令和5年 12月 15日  
江東区立深川第一中学校  
養護教諭 栗原秀美

## 「弁当の日」がやってきた

12月11日(月)、第1回目の『弁当の日』を実施しました。実施前から、何をつくらうかとあれこれ考えていた人も多かったようです。「先生！弁当の日、〇〇つくります！」と話してくれた人もいました。

そして迎えた当日。焼きそば、チャーハン、オムライス、そばろ弁当、キャラ弁は想定内でしたが、ラーメンやイタリアン(生ハムのカプレーゼ!)、ガパオライスまで登場するとは驚きでした。みんな、すごい!

### 感想より

- ・自分で弁当をつくることによって弁当をつくる大変さと親の苦労が分かりました。【1年女子】
- ・料理が楽しいと感じられた。弁当の日だけでなく、手伝いなどでも料理をするようにしたい。【1年女子】
- ・料理は比較的つくるのが好きなほうだから、こういう日があっとうれしかった。チキンライスが特にうまかった。とにかく楽しかった。【1年男子】
- ・自分で作ると達成感があるし、食べるといつもの2倍くらいおいしい。【1年男子】
- ・毎日弁当の日がいいなと思った。作るのが楽しい。【3年女子】

### 苦労したこと・難しかったこと

- ・卵焼きが難しかった。油がはねて、熱かった。【2年男子】
- ・早起き【2年男子】
- ・弁当箱に詰めるのが少し難しく、ソーセージがご飯の上にしか乗せられなくなってしまった。【2年男子】
- ・家に普通のフライパンしかなかったため、卵焼きをひっくり返すときに失敗して三角の形になってしまった。【2年女子】

### 次回「弁当の日」に向けて、一言

- ・もうちょっとギチギチに詰めてくる。【3年男子】
- ・次は5段弁当を持っていきます。【3年男子】
- ・今回よりも成長した弁当を作りたい。【3年女子】
- ・少し早く起きて、朝にもう少し余裕をもたせたい。【3年女子】

全員の感想を載せたいくらい、みなさん苦労して、工夫して、頑張っ、楽しんだことが分かるアンケートでした。弁当づくりを経験した人は、その大変さが身にしみて分かり、いつも食事を用意してくれている方への感謝が生まれたことでしょう。また一つ、素敵な大人に近づきましたね。次回の「弁当の日」は3月11日(月)です。

## 保護者の皆様

今回、『弁当の日』の実施にあたり、保護者の皆様にはご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。

いただいた感想を読みました。私は『弁当の日』の取り組みのなかで、自分の弁当を持ってキラキラ輝いた笑顔を見せる生徒たちを見るのも好きですが、保護者の方の感想を読む時間が一番好きです。献立や買い物で楽しく会話をしている姿、自分でつくる！と懸命に取り組むお子さんの姿と、それを見守りながら我が子の成長に感激している保護者の方の姿が、ありありと目に浮かび、とても幸せな気持ちになるからです。

「親の負担が」「平日の朝は」、否定的なご意見も少数ですが頂戴しています。それでも、『子供が成長する力』を信じ、お子さんに任せてみてください。やらせなければ、この先もずっとできないままです。お子さんに成長のチャンスをください。「子どもを信じて、待つ・見守ること」は、私たち大人の大事な仕事です。

これぞ弁当の日！というような保護者の方からの感想をいただきましたのでご紹介します。(保護者の方のご了承を得ています。)

1年男子・女子 お名前(無記名も可)

「弁当の日」の取り組みについて、ご感想・ご意見を自由にお書きください

全てを自分でやるという目的にちなんで我が子が選んだ弁当の献立は「カレーライス弁当」でした。

普通によくある弁当を想像していた母はビックリ！「冷めると大変だよ」「冷えたカレーはおいしくないんじゃない?」とやめる様に声をかけてみると本人は「俺が給食の時間に食べたものを作るんだから!!」と意志は固く、当日は朝早く起きて一人でカレー作りを元気で頑張っていました。帰ってきた息子に聞くととてもおいしかったとのこと。本人のやりたいことを尊重して、本人に委ねるというお弁当を通しての我が子の小さな自立を感じた一日でした。来年もぜひ行ってほしいと思います。